

みんなの声を活かす意見公募手続の結果公表

様式 3

「第五次御殿場市総合計画前期基本計画（素案）」に対し、ご意見をいただきありがとうございました。

出された意見の内容（概要）及び意見に対する市の考え方は以下のとおりです。

みんなの声を活かす意見公募手続の結果

1	意見提出者数	3 人	
2	提出された意見の数	7 件	
3	意見の反映状況		
①	反映した意見	1 件	
②	既に盛り込み済みの意見	0 件	
③	今後参考とする意見	5 件	
④	反映できない意見	1 件	
⑤	その他（質問等）	0 件	
4	意見の反映状況一覧		
No.	意見の内容	市の考え方	反映結果
1	総論第 5 章 土地利用方針 地域別まちづくりの方針において 富士岡地域の特性に、御殿場線の 2 駅（富士岡駅・南御殿場駅）及 び国指定の天然記念物「駒門風穴」 を明記されたい。	ご意見をふまえ、前期基本計画（案）に文言を追加します。	①反映した意見
2	政策 6-1 施策（2）富士山を活かした景観の整備 富士岡駅周辺にある富士見十二景の 9. 富士見台（高堤防）から見る富士山の眺望も記載されたい。	現在 5 箇所を富士山眺望遺産に選定していますが、今後新たな眺望遺産認定に向けて検討する際の参考としていきます。 なお、本計画の政策成果指標として「眺望遺産の認定件数」を 5 年後に 7 件にすることを目標としています。	③今後参考とする意見
3	政策 6-2 活力ある土地利用の推進 政策 6-3 持続可能なまちづくりの環境整備	前期基本計画（案）P174 の施策（1）、P176 の施策（2）において、市街地における人口の維持・増加	③今後参考とする意見

	富士岡駅及び南御殿場駅周辺の「まちづくり」について記載がない。駅周辺の整備やバリアフリー化を行い、人口の維持・増加や工業地域の維持・拡大につなげると記載されたい。	に向けた取組や駅等の拠点整備について記述しています。 具体的な整備内容に関するご意見として参考とし、今後、都市計画マスタープランや個別計画策定の際に検討していきます。	
4	政策 6-7 公共交通の利便性の向上 現状データにおける富士岡駅、南御殿場駅での乗車人数が少ないのは、駅本体のバリアフリー化やホーム上屋の未設置並びに駅周辺の未整備（駐車場等）が想定される。公共交通の利便性向上施策として、関係個所と率先して協議を行い、駅周辺整備を行うことを記載されたい。	前期基本計画（案）P174 施策（1）、P176 施策（2）、P186 施策（1）において、市街地における人口の維持・増加に向けた取組や駅等の拠点整備、及び鉄道交通の充実について方針等を記述しています。 公共交通の利便性向上や地域全体の活性化につなげられるよう個別計画や実施計画等を検討してまいります。また、JR 御殿場線沿線 10 市町が連携・協力しながら鉄道事業者等に対し改善要望を行っています。	③今後参考とする意見
5	人口ビジョン（改定版）の長期試算によると、69,000 人（令和 52 年）となっている。これは、移動世帯（自衛官世帯）を抜いた試算をすると、令和 22 年には到達するように思われる。 今後の人口は、現人口の 2 割以上が減り、高齢者で構成されると思われるため、見直しを求める。	人口ビジョンの作成に際し国立社会保障・人口問題研究所の試算も分析パターンの一つとして検証しましたが、令和 7 年度推計値約 81,000 人に対し、現人口は約 83,000 人と既に乖離が生じています。また P32 の目指すべ	④反映できない意見

		き将来の方向に示す各種施策を将来に向け展開し、人口減少抑制に関する取組を推進していくことからシミュレーションAを選択し、将来人口推計としたものです。（各人口推計には準世帯も含めた自衛官の人数も含んでいます） なお、これは現時点での将来展望を見込んだ推計であり、今後の社会情勢や人口動向を的確に把握し、必要に応じ人口推計や目標人口の更新を行ってまいります。	
6	御殿場で生まれ育った子どもが、御殿場で大人になって働く（＝納税する）ことへのアプローチがない。子育て支援に多額の税金を投入し、育った子供が市外へ流出するのであれば、なんのための子育て支援か。今、地方で問題なのは「若年世代の流出」「出生数の減少」であり、御殿場に住み続けたいと思えるコンテンツを育まなければ子育て支援も無駄となる。最近力を入れているインスタ映え講座に参加した若者はどのようなモチベーションで市に住み続けると想定しているのか。自治体が市費を投じてやることなのか。	高校や大学卒業後に就職や進学等により市外へ転出する人が一定数いることは認識しております。一度市外へ出たとしても、様々な学びや経験を積み、将来的には故郷に戻り地域を創る・支える・担う存在となることが重要と考えます。そのためにも御殿場の魅力を再認識してもらうことによる郷土愛（シビックプライド）の醸成や地域資源を素材として新しいことにチャレンジする精神を身に付ける若者の人材育成を行い、本市の未来へつなぐ様々な取組を推	③今後参考とする意見

		進してまいります。	
7	これから行われるハコモノ行政には市民の税金が数十億円投じられる。経済活性化施設やメッセ型施設の計画立案は、どのような意思決定を経て決められたものか。市民に検証可能な形で示されているか。市民意見はどのような形で反映されているか。 各施設には「日本一の～」という合言葉等が使われているが、「何が」「どう」日本一なのか、市外から訪れる人がわかるよう、開館までに市民に説明いただきたい。 経済活性化施設は、当初道の駅として市民からある程度賛同を得たアンケートが示されたが、道の駅の条件は満たさないとして、大きく趣旨が変わった施設を整備することになった。前提条件が変わったのなら改めて市民意見を確認する必要があるのでは。 メッセ型施設はどこに作るのか。可能性調査を進めるのであれば調査費の予算の裏付け、用途の公開を要望する。 大型公共事業に際し、住民説明会を行う用意はあるのか。一方的な理屈を押し付け、支持を高めることが合意形成と考えているのか。	「未来に投資する 4 大プロジェクト」については、富士山の恵み、交通の利便性、年間 1,500 万人を超える観光交流人口などの“御殿場の力”を生かした、未来の御殿場市、将来を担う子どもたちのため事業です。 経済活性化施設については、道の駅の機能と合わせ、観光や産業の振興による経済活性化を目指す複合的な施設として、まちづくりの一つの拠点として整備を進めるものです。 実施にあたっては、各種検討会をはじめ、基本構想の議会承認等を経て、パブリックコメントやワークショップ等を実施し、市民の皆さまへの周知に努めるとともに、具体的な質問・意見等については市ホームページや SNS など各種媒体を活用して情報公開を行っています。 メッセ型多目的施設についても、議会や地元、また市民への丁寧な説明を行ってまいります。 これらの施設について	③今後参考とする意見

		は、教育・文化振興や観光・商業振興、地域振興や防災強化等様々な地域課題の解決と地域活性化の促進を目的とし、複合的な役割・機能を備えることで、事業の効果を一層高めることを目指すものです。 また、事業を推進していく上で、施設整備の目的や詳細、進捗状況などを市民の皆様へ公開するとともに、パブリックコメントなどにより意見や情報を募り、知恵と地域資源を生かし、検討していくことが必要不可欠であると認識しています。 今後も、引き続き公平性と透明性を確保し、市民参加型の施設整備を推進してまいります。	
5	意思決定後の策定案の内容	(資料添付)	
6	意見の公表先	市ホームページ、企画課	

担当課	御殿場市 企画戦略部 企画課 企画調整スタッフ TEL : 0550-82-4421 メールアドレス : kikaku@city.gotemba.lg.jp
-----	---